

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	スポーツ健康課	職	課長	氏名	濱辺 正実
評価者	組織	スポーツ健康課	職	教育次長兼課長	氏名	濱辺 正実

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	学校体育・健康教育の推進	新体力テストの5段階評価で上位ランク(A、B)の者の割合	%	55.0 (H27)	50.8 (H23)	51.1 (H24)	B
施策2	生涯スポーツの普及・振興	県民スポーツ・レクリエーション祭参加者数	人	18,000 (H27)	15,947 (H23)	15,319 (H24)	C
施策3	競技スポーツの充実・強化	スポーツ指導者(有資格者)数	人	2,000 (H27)	1,756 (H23)	1,843 (H24)	A

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価			
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
						(年度)	(年度)							
施策1	課題1	学校体育の充実	新体力テストの5段階評価で上位ランク(A、B)の者の割合	%	55.0 (H27)	50.8 (H23)	51.1 (H24)	1	いしかわっ子体力アップ推進事業	全公立小・中等学校	499	494	A	継続
								2	運動部活動地域連携再構築事業	中・高校	2,668	2,668	A	継続
	課題2	食育の推進	新体力テストの5段階評価で上位ランク(A、B)の者の割合	%	55.0 (H27)	50.8 (H23)	51.1 (H24)		体力向上をめざした食育の推進	小・中学校のモデル校	750	739	A	廃止
施策2	課題1	生涯スポーツ活動の推進	県民スポーツ・レクリエーション祭参加者数	人	18,000 (H27)	15,947 (H23)	15,319 (H24)	1	県民スポーツ・レクリエーション祭開催費	県民	5,075	5,075	B	継続
	課題2	総合型地域スポーツクラブの創設を支援	総合型地域スポーツクラブ創設市町数	市町	19 (H27)	12 (H23)	12 (H24)		広域スポーツ支援センター事業	県民	2,519	2,435	B	継続
施策3	課題1	競技力向上対策	スポーツ指導者(有資格者)数	人	2,000 (H27)	1,756 (H23)	1,843 (H24)	1	選手強化事業	強化指定選手	190,200	190,200	B	継続
								2	高等学校運動部活動強化指定事業	指定運動部	17,000	17,000	B	拡大
								3	中学生強化費事業	中学選抜選手	5,900	5,900	A	拡大
								4	いしかわっ子駅伝交流大会開催費補助金	小学生	1,100	1,100	A	継続
	課題2	スポーツ医・科学研究成果の活用促進	医科学トレーニング実践者数	人	800 (H24)	1,537 (H23)	2,020 (H24)		科学的トレーニング特別強化事業	強化指定選手	2,000	2,000	A	継続

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわっ子体力アップ推進事業	事業開始年度 H19	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画

作組織	スポーツ健康課
成職・氏名	課長補佐 北川 博勝
者電話番号	076 - 225 - 1853 内線 5684

事業の背景・目的

体力は人間の活動の源であり、その充実を図ることは重要な課題である。しかし、近年生活が便利になったことに加え、スポーツや外遊びに不可欠である「時間」、「空間」、「仲間」の減少により、子ども達が日常的に体を動かす機会も少なくなり、昭和60年頃の体力と比べると体力の低下が全国的に問題となってきた。

本県では、近年体力が回復傾向にあり、体力合計点も全国平均を上回ってはいるが、昭和60年頃の体力までは回復していない。

そこで、児童生徒の体力のより一層の向上を図るため、継続した全県的な取り組みが必要である。

- 事業の概要**
- 1 体力アップ1校1プランの取組
 - ・全公立小・中・高等学校が対象
 - ・体力運動能力調査の結果を踏まえた学校独自の体力向上計画の作成・実践
 - 2 研究協議会の開催(年1回)
 - ・全公立小・中・高等学校・特別支援学校の体育担当者
 - ・全体会: 体力向上に関する講演会
 - ・分科会: 体力アップ1校1プランの実践発表
 - 3 「スポチャレいしかわ」優秀クラス表彰 (小学校対象)
 - ・インターネットを活用した小学生の運動習慣づくりを推進
 - ・種目別、学年別、部門別に優秀クラスを6位まで表彰

施策・課題の状況						
施策	学校体育・健康教育の推進				評価	B
課題	学校体育の充実					
指標	新体力テストの5段階評価で上位ランク(A、B)の者の割合				単位	%
目標値	現状値					
	平成27年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	55.0	48.6	48.6	49.9	50.8	51.1

事業費					
(単位:千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 予算	2,000	655	499	499	499
事業費 決算	1,640	466	485	465	494
一般 予算	2,000	655	499	499	499
財源 決算	1,640	466	485	465	494
事業費累計	3,494	3,960	4,445	4,910	5,404

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	A	全ての公立小中高等学校を対象とした学校独自の体力向上計画である「体力アップ1校1プラン」の継続した取組により、新体力テストの総合評価が上位ランク(A・B)の者の割合が年々上昇している。 また、本県が行う小4から高3までの体力・運動能力調査における体力合計点においても、調査を始めたH18から引き続き上昇傾向を示している。 体力合計点(平均) H18:49.93点→H24:52.02点
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	体力は健康の保持増進のみならず、学力向上においても気力の源であり、学習指導要領の理念である「生きる力」の極めて重要な要素である。 今後も、本事業により、「体力アップ1校1プラン」や「スポチャレいしかわ」を継続して実施し、全県的な児童生徒の体力の向上を図っていく。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 運動部活動地域連携再構築事業	事業開始年度: H13	事業終了予定年度:	作 組 織: スポーツ健康課
	根拠法令・計画等: 石川の教育振興基本計画		成 職・氏名: 課長補佐 北川 博勝 者 電話番号: 076 - 225 - 1853 内線 5684

事業の背景・目的

生徒数の減少に伴う教員の減少や、教員の高齢化、専門性を持った指導者不足を解決するため、スポーツ指導者の資格や専門的な技術指導力を備えた地域のスポーツ人材を、運動部活動に活用することにより、専門的指導を求める生徒のニーズに応え、運動部活動の充実と活性化を図る。また、地域のスポーツ人材の活用についての調査研究を行う。

- 事業の概要**
- 1 運動部活動地域連携再構築事業
 - ・派遣対象: 県内公立中学校・公立高等学校
 - ・派遣人数: 中学校 29名・高等学校 19名 計48名
 - ・派遣回数: 1回(2時間程度)×年間20回
 - 2 運動部活動地域連携再構築事業研修会
 - ・期 間: 1日
 - ・対 象: スポーツ人材全員
 - ・講 師: 消防救急隊員及び体力科学研究所員

施策・課題の状況						
施策	学校体育・健康教育の推進	評価	B			
課題	学校体育の充実					
	指標	新体力テストの5段階評価で上位ランク(A、B)の者の割合		単位	%	
	目標値	現状値				
	平成27年	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	55.0	48.6	48.6	49.9	50.8	51.1

事業費						
	(単位: 千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算	6,570	6,531	3,396	2,590	2,668
	決算	6,432	6,431	3,196	2,590	2,668
一般財源	予算	3,915	3,876	0	0	0
	決算	3,777	6,431	0	0	0
事業費累計		66,541	72,972	76,168	78,758	81,426

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性(費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	A	本事業の実施により、中学、高校の運動部活動において、参加する生徒の意欲や競技力の向上につながるなど、部活動の充実と活性化が図られたことに加え、生徒とスポーツ人材との交流による学校の活性化や、部活動顧問がスポーツ人材の指導を学ぶことによる指導力の向上が図られるなど、高い効果が見られた。
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	運動部活動は、競技力や体力の向上はもとより、協調性や責任感、自主性の育成など教育的意義の高い活動である。 今後も本事業を継続することにより、運動部活動の一層の活性化を図り、本県競技力の向上とともに、生徒が生涯にわたって自主的・自発的に運動に親しむ資質や能力を身につけ、豊かなスポーツライフの基礎を育むことができるよう努める。 あわせて、外部スポーツ人材と部活動顧問の指導力向上を図る研修会の充実にも努める。

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名 体力向上をめざした食育の推進	事業開始年度	H23	事業終了予定年度		作 組 織	スポーツ健康課
	根拠法令 ・計画等	新学習指導要領、改正学校給食法			成 職・氏名	主任指導主事 竹中 好美
					電 話 番 号	076 - 225 - 1847 内線 5647

<p>事業の背景・目的</p> <p>本県の子どもの体力は、近年徐々に回復傾向を示しているものの、ピーク時に比べると、まだ低い状況にあることから、これまでも体力アップ1校1プランなど子どもの体力向上のための施策を実施してきたところである。 今回、子どもの生活習慣の乱れに着目し、意識啓発に留まらないより実践的な改善施策をモデル校において実施し、児童生徒に望ましい生活習慣・食習慣の定着による体力向上を図り、その効果の実証された取組を広く県内各校に普及させる。</p> <p>事業の概要</p> <p>1 実践研究校の指定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 加賀市 錦城小学校 野々市市 富陽小学校 ・中学校 七尾市 御祓中学校 計3校(栄養教諭配置校) <p>2 H23取り組み事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護大学准教授を研究アドバイザーとして、指導・助言による事業の推進 ・金沢学院短期大学教授などによる「食に対する講演会」の実施 ・カロリー・万歩計を使った児童に対する個別指導の実施 ・課題のある児童に対する「夏休み健康教育」の実施 など <p>3 H24年度の取り組み事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組み結果の分析(食生活の実態調査・運動能力調査のH23との比較) ・大学教授などによる指導(H23から引き続き) ・県内教職員、地域・家庭を対象に学校毎に公開研究発表会を実施 ・スポーツ選手、大学教授、地域食育実践者による講演会の開催 ・教員の研修会におけるモデル校3校の実践報告による県内全小中学校への周知 など 	施策・課題の状況						
	施策課題	学校体育・健康教育の推進				評価	B
	指標	新体力テストの5段階評価で上位ランク(A,B)の割合				単位	%
	目標値	現状値					
	平成24年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	55.0	48.6	48.6	49.9	50.8	51.1	
	事業費						
	(単位:千円)		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	事業費	予算 決算				1,500 1,308	750 739
一般財源	予算 決算				1,500 1,308	750 739	
事業費累計		0	0	0	1,308	2,047	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	<p>研究校での食生活実態アンケートの結果等から、児童生徒の「朝食摂取率が増加した。」「給食残食率が減少した。」など、食習慣や生活習慣の改善が数値として表れ、また体力テストの結果から、「体力について自信のある生徒が増加した。」など、それら食育の実践が体力向上に結びつくことが検証された。</p> <p>研究校における公開研究発表会の開催や教員の研修会で研究校実践報告を通じ、本事業で成果のあった取組の県内全小中学校への波及を図ることができた。</p>					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	廃止	<p>研究校3校の2年間の研究の実践から、食育の推進は、体力の向上に結びつくことが検証された。今後は、研究校における取組の成果を参考に、県内の各小中学校で体力向上に結びつく食育の取組が実践されるように、教員の研修会等を通して、食育の推進を促していく。</p>					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	県民スポーツ・レクリエーション祭開催費	事業開始年度	H4	事業終了予定年度		作 組 織	スポーツ健康課
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画			成 職・氏名	課長補佐 清田 敬夫
						者 電話番号	076 - 225 - 1852 内線 5679

事業の背景・目的
 広く県民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、その活動を通じて交流を深めるとともに、活動の輪を広げ、明るく生き生きとした県民生活の一層の充実に資する。

- 事業の概要**
- 1 主 催 石川県、石川県教育委員会
 - 2 期 日 平成24年4月～25年1月（中心開催期間5月～6月）
 - 3 参加者数 15,319名
 - 4 内 容
- (1) 種目別大会（場所・期日は未定） 43種目
- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 グラウンドゴルフ大会 2 ゲートボール大会 3 壮年サッカー大会 4 ソフトバレーボール大会 5 女子ソフトボール大会 6 ラージボール卓球大会 7 ターゲットバードゴルフ大会 8 男女混合綱引大会 9 年齢別テニス大会 10 年齢別ソフトテニス大会 11 バウンドテニス大会 12 年齢別バドミントン大会 13 壮年ボウリング大会 14 インディアカ大会 15 フォークダンスフェスティバル 16 エアロビック大会 17 トランポリン・シャトル大会 18 オリエンテーリング大会 19 スイミングフェスタ 20 ウオーキング大会 21 ファミリーサイクリング大会 | <ol style="list-style-type: none"> 22 ふれあいカヌー大会 23 フレッシュテニス交流大会 24 武術太極拳大会 25 トリムバレーボール大会 26 パークゴルフ大会 27 マレットゴルフ交流大会 28 ユニホック大会 29 ビリヤード大会 30 タグラグビー大会 31 パドルテニス大会 32 クライミング大会 33 スポーツチャンバラ大会 34 ビーチボール交歓大会 35 ペタンク大会 36 リズムダンスの集い 37 フライヤーフェスタ 38 キンボール大会 39 3B体操 40 ふれあいドッジボール大会 41 ウオークラリー 42 グランドヤード大会 43 バリアフリーディスクゴルフ大会 |
|--|---|

- (2) ニュースポーツ体験広場
 開催地：3市1町（金沢市・七尾市・小松市・能登町）
 主管団体：開催市スポーツ主管課
 実施種目：ニュースポーツ体験、囲碁ボールなど
- (3) 協賛大会
 開催地：総合型地域スポーツクラブの創設されている地域 計17地域
 主管団体：総合型地域スポーツクラブ（17クラブ）
 実施種目：ニュースポーツ体験、マリンスポーツ、スキー・スノーボードなど

※総合型地域スポーツクラブとは
 子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多目的)、初心者からトップレベルまでそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)特徴のある行事や事業を実施し、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ

施策・課題の状況						
施策	生涯スポーツの普及・振興				評価	C
課題	生涯スポーツ活動の推進					
指標	県民スポーツ・レクリエーション祭参加者数		単位	人		
目標値	現状値					
	平成27年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	18,000	18,783	16,171	18,062	15,947	15,319

事業費						
(単位：千円)		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算	6,230	6,216	6,000	6,000	5,075
	決算	6,230	6,216	5,819	6,000	5,075
一般	予算	1,127	1,686	2,167	2,730	2,120
	決算	820	1,398	1,630	2,563	2,119
事業費累計		174,373	180,589	186,408	192,408	197,483

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性(費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役立ったか)	B	種目別大会やニュースポーツ体験広場ならびに協賛大会には、男女を問わず幅広い年齢層が参加しており、県民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しむとともに、互いの交流を深めるなど、明るく生き生きとした県民生活の充実に寄与している。

今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本県生涯スポーツの振興のため、各種目団体、市町、総合型地域スポーツクラブの協力を得て、多くの方が参加できるよう時期や実施内容などについて関係団体と協議しながら開催を継続するとともに、参加者の拡大のため、参加の形態や、協賛大会・ニュースポーツ体験広場の拡大に努める。
---	----	--

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 広域スポーツ支援センター事業	事業開始年度	H16	事業終了予定年度		作 組 織	スポーツ健康課
	根拠法令・計画等	石川の教育振興基本計画			成 職・氏名	課長補佐 清田 敬夫
					者 電話番号	076 - 225 - 1852 内線 5679

事業の背景・目的

地域のスポーツ振興のための方策として、総合型地域スポーツクラブの創設を進め、運営をサポートする。クラブ創設・運営のためにクラブマネジャーの養成や、指導・助言を行う講師の派遣を行うとともに、大学とクラブの連携を推進する。また、スポーツ情報ネットワークにより、県民へさまざまなスポーツ情報を発信する。

- 事業の概要**
- 1 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の開催
 - 2 大学とクラブの連携事業(クラブネットいしかわ)の開催
 - 3 総合型地域スポーツクラブへの指導者派遣
 - 4 クラブマネジャー養成講習会、クラブマネージャスキルアップ講習会の開催
 - 5 文部科学省等への会議出席、県内巡回指導
 - 6 スポーツ情報ネットワーク「スポナビいしかわ」の運用

これまでの見直し状況

平成16・17年度に国の広域スポーツ支援センターモデル事業を実施し、平成18年度よりは県単独事業として、広域スポーツ支援センター事業を行っている。

※総合型地域スポーツクラブとは
子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)、初心者からトップレベルまでそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)特徴のある行事や事業を実施し、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ

施策・課題の状況						
施策	生涯スポーツの普及・振興	評価	C			
課題	総合型地域スポーツクラブの創設を支援					
指標	総合型地域スポーツクラブ創設市町数	単位	市町			
目標値	現状値					
	平成27年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	19	9	12	12	12	12

事業費					
(単位:千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 予算	3,439	2,570	2,422	2,796	2,519
事業費 決算	3,398	2,521	2,224	2,452	2,435
一般 予算	3,439	2,570	2,422	2,796	2,519
財源 決算	3,398	2,521	2,224	2,452	2,435
事業費累計	25,394	27,915	30,139	32,591	35,026

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	B
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続
<p>これまで地域スポーツ振興の核となる総合型地域スポーツクラブの創設・育成を進めてきており、県内市町におけるクラブ数は増加してきている。(H23:30クラブ、H24:33クラブ)さらに、クラブの未育成市町においても、クラブネットいしかわの働きかけにより、クラブ創設への動きが見られるようになった。</p> <p>国の「スポーツ基本計画」や本県スポーツ振興策の一つに掲げる、総合型地域スポーツクラブの創設及び運営の支援を今後とも進めていく。</p>	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 選手強化事業	事業開始年度: S38	事業終了予定年度:	作 組 織: スポーツ健康課
	根拠法令・計画等: 石川県スポーツ振興基本計画		成 職・氏名: 課長補佐 清田 敬夫 者 電話番号: 076 - 225 - 1852 内線 5679

事業の背景・目的
国民体育大会および各種全国大会に優秀な成績を収めるため、成年・少年(中・高)強化選手を対象に強化を行う。「山口国体」での天皇杯得点順位を踏まえ、短・中期的な計画のもとに上位入賞をめざすとともに、国体開催以外の各競技の組織及び選手強化を目指す。

事業の概要

1 選手強化事業

(1) 目的
国民体育大会で実施される40競技の競技力維持・向上を図るため、強化事業(合宿・遠征等)を実施する。また、国体入賞に向け努力し成果が期待される競技種別に対し、重点的な強化を行う。

(2) 成年強化事業

ア 基礎事業
対象者 40競技 794人(ヘッドコーチ・監督・コーチ・強化選手)
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習、講師招聘等

イ 重点事業
対象者 過去2回(65、66回)の国体で実績ある競技団体
北信越大会で実績のある競技団体
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

(3) 少年(中・高)強化事業

ア 基礎事業
対象者 38競技 701人(監督・コーチ・強化選手)
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

イ 重点事業
対象者 過去2回(65、66回)の国体で実績ある競技団体
北信越大会で実績のある競技団体
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

備考
期 間 平成24年4月1日～平成25年3月31日

2 一貫指導ジュニア育成事業

(1) 目的
作成した一貫指導プログラムを基にジュニア競技者の育成を図り、競技力向上につなげる。

(2) 対象
指定した6競技団体

3 体育団体組織強化事業

(1) 目的
国体開催以外の各競技の組織及び選手強化事業を実施する。

(2) 対象 15団体
綱引連盟、トランポリン協会、少林寺拳法連盟、オリエンテーリング連盟、ゲートボール協会、パワーリフティング協会、グラウンドゴルフ協会、武術太極拳連盟、バイアスロン連盟、マレットゴルフ協会、パークゴルフ協会、障害者スポーツ協議会、バウンドテニス協会、トライアスロン協会、ボールルームダンス連盟

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化	評価	A			
課題	競技力向上対策					
	指標	スポーツ指導者(有資格者)数	単位	人		
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	2,000	1,460	1,529	1,645	1,756	1,843
国民体育大会	目標	20位台前半	20位台前半	20位台前半	20位台前半	20位台前半
総合順位	実績	22	22	31	26	

事業費						
	(単位: 千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算	190,200	190,200	190,200	190,200	190,200
	決算	190,200	190,200	190,200	190,200	190,200
一般財源	予算	190,200	190,200	190,200	190,200	190,200
	決算	190,200	190,200	190,200	190,200	190,200
事業費累計		5,225,571	5,415,771	5,605,971	5,796,171	5,986,371

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか) 今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	B	国民体育大会天皇杯順位は、昨年の31位から26位となり20位台以内を確保した。各種競技において本県を代表する選手の全国大会上位入賞や国際大会の日本代表選手に選出され入賞を果たすなど、選手強化は有効である。
	継続	本県のスポーツ振興には、全国大会等で優秀な成績を収め、県民に夢や希望と感動を与えられるよう選手強化とともに、指導者の養成に努めなければならない。 また、競技力向上のための競技別一貫指導体制確立に向けて指導者の資質向上に努めるとともに、国民体育大会40競技以外の競技団体についても組織強化を図ることが本県スポーツ全体の発展につながることから、引き続き事業を実施していく。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 高等学校運動部活動強化指定事業	事業開始年度	H4	事業終了予定年度	
	根拠法令	石川の教育振興基本計画		
	・計画等			

作組	織	スポーツ健康課		
成職	・氏名	主任指導主事 橋本 祐之		
者	電話番号	076 - 225 - 1852 内線 5681		

事業の背景・目的
 全国大会等(全国高体連が主催または共催する大会および国民体育大会)で優秀な成績を収めるため選手育成の拠点となる県内高等学校運動部を指定し、重点的な強化を推進する。

事業の概要

1 指定期間
 平成24年4月1日～平成25年3月31日

2 指定方法
 県高体連会長が指定基準を満たす運動部を推薦し、県教育委員会で審査の上、県教育長が指定する。

3 指定基準

【団体】
 <A指定>
 平成24年度の全国大会において団体4位以上の入賞が期待できる運動部
 <B指定>
 平成24年度の全国大会において団体8位以上の入賞が期待できる運動部

【個人】
 <A指定>
 平成24年度の全国大会において個人4位以上の入賞が期待できる運動部
 <B指定>
 平成24年度の全国大会において個人8位以上の入賞が期待できる運動部

【駅伝強化】
 平成23年度の県予選会において、男女上位各2チームが強化指定校

【特別強化】
 平成24年度に指定された競技で、県総体・北信越大会等をへて全国大会の代表権を獲得した運動部

4 全国総体特別強化
 平成24年度全国高等学校総合体育大会における、本県開催4競技の県高体連4専門部の強化を図る

施策・課題の状況							
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	A	
課題	競技力向上対策						
	指標	スポーツ指導者(有資格者)数				単位	人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	2,000	1,460	1,529	1,645	1,756	1,843	
強化対象競技数	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	27	27	22	24	27		
強化対象部数	目標	60	60	60	60	60	
	実績	65	63	67	72		
事業費							
	(単位:千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業費	予算	23,200	23,200	23,200	17,500	17,000	
	決算	23,200	23,200	23,200	17,500	17,000	
一般	予算	23,200	23,200	23,200	17,500	17,000	
	決算	23,200	23,200	23,200	17,500	17,000	
財源							
事業費累計		442,900	466,100	489,300	506,800	523,800	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性(費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	本事業によって本県高校生の全国高校総体をはじめとする各種全国大会等での入賞が期待できるとともに、県内運動部活動の活性化につながるものであり有効である。					
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後に取り組むのか)	拡大	高校運動部活動は、毎年主力となる3年生が卒業し新たに新入生が加わるため、継続して強化していくことが、全国大会等で好成績を収めることや運動部活動の活性化につながる。 平成25年度は、これまでの強化事業に加えて新たに重点強化事業を導入し、よりハイレベルな指導体制のもとで集中的な強化を図る。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	中学生強化費事業	事業開始年度	H5	事業終了予定年度		作 組 織	スポーツ健康課
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画			成 職・氏名	主任指導主事 岸 一盛

事業の背景・目的

全国大会等(全国中体連が主催または共催する大会)において優秀な成績を収めるとともに、将来国民体育大会少年の部選手として活躍できるように計画的に強化育成し、競技力の向上を図る。

事業の概要

- 1 実施競技
県中学校体育連盟に加盟の18競技
- 2 対象
県中学校体育連盟各専門部で選考した体力・技術面に優秀で、県中学校体育連盟会長の承認を得た者
- 3 期間
事業の実施期間は、原則として下記のとおりとする。
平成24年4月1日～平成25年3月31日
- 4 内容
県中学校体育連盟各専門部が、強化合宿、強化練習等を計画し実施する。
- 5 経費
県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で補助する。
- 6 実施上の留意点
(1) 事業の日程は、各学校の教育活動に支障の内容に配慮すること。
(2) 事業への参加については、当該学校長及び保護書の承諾を得ること。
(3) 事業に参加する指導者及び選手は、スポーツ安全保険に加入することを原則とする。

施策・課題の状況

施策	競技スポーツの充実・強化	評価	A			
課題	競技力向上対策					
	指標	スポーツ指導者(有資格者)数				
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	2,000	1,460	1,529	1,645	1,756	1,843
北信越総体	目標	34	34	34	34	34
優勝数	実績	36	34	25	21	21

事業費

(単位: 千円)		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算	6,000	6,000	6,000	5,900	5,900
	決算	6,000	6,000	6,000	5,900	5,900
一般	予算	6,000	6,000	6,000	5,900	5,900
	決算	6,000	6,000	6,000	5,900	5,900
財源		6,000	6,000	6,000	5,900	5,900
事業費累計		96,834	102,834	108,834	114,734	120,634

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	A	本事業によって平成24年度全国中学校体育大会で2競技が優勝するなど、本県中学生の全国中学校体育大会をはじめとする各種全国大会等での入賞が期待できるとともに、県内中学校運動部活動の活性化と競技人口の確保につながり、有効である。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	本県スポーツの基盤をなす中学生の競技力を維持向上することは、将来の高校生や成年選手としての活躍につながるものである。また、少子化における競技人口の減少や競技のハイレベル化に対応するためにも、今後も本事業を継続していく。 平成25年度は、これまでの強化事業に加えて新たに重点強化事業を導入し、よりハイレベルな指導体制のもとで集中的な強化を図る。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわっ子駅伝交流大会開催費補助金	事業開始年度: H18	事業終了予定年度:
	根拠法令・計画等	石川の教育振興基本計画

作	組	織	スポーツ健康課			
成	職	氏名	主任指導主事 橋本 祐之			
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1852 内線 5681	

事業の背景・目的

本県駅伝競技力向上のため、小学生の早い段階から駅伝を体験させることにより駅伝競技の競技者の底辺拡大と長距離走(持久走)の正しい技能を習得し、心身の健全な育成並びに体力の向上を目指すとともに、児童相互の親睦を図ることを目的とする。

事業の概要

1 主催 石川県 石川県教育委員会

2 主管 いしかわっ子駅伝交流大会実行委員会

3 内容

(1) 対象
 小学校5, 6年生 学校単位としたチーム
 ※但し、単級で児童数が少なくチームが組めない場合は、2校合同チームでの出場も可
 男女各チーム7名(選手5名、補欠2名) 男子109チーム 女子98チーム

(2) 開催時期
 平成24年11月3日(土・祝) 開会式 9:00 女子スタート 9:40 男子スタート 10:30

(3) 場所
 県西部緑地公園内特設周回コース 各区間 1.5km

これまでの見直し状況
 過去の参加状況

年度	大会回数	参加市町数	参加チーム数		参加人数
			男子	女子	
H18	1回	17市町	60チーム	49チーム	623人
H19	2回	17市町	57チーム	50チーム	613人
H20	3回	17市町	73チーム	60チーム	781人
H21	4回	14市町	51チーム	43チーム	532人
H22	5回	17市町	83チーム	82チーム	1,118人
H23	6回	17市町	90チーム	90チーム	1,167人
H24	7回	18市町	109チーム	98チーム	1,334人

中学生駅伝金沢城・兼六園大会(H13~17)を継承して実施

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	A
課題	競技力向上対策					
	指標	スポーツ指導者(有資格者)数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	2,000	1,460	1,529	1,645	1,756	1,843
本大会	平成27年度目標	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
出場者数	2,000	781	532	1,118	1,167	1,334
事業費						
	(単位:千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算	1,600	1,600	1,000	1,000	1,100
	決算	1,600	1,600	1,000	1,000	1,100
一般	予算	1,600	1,600	1,000	1,000	1,100
財源	決算	1,600	1,600	1,000	1,000	1,100
事業費累計		5,600	7,200	8,200	9,200	10,300
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役立ったか)	A	年々、男女ともに参加チーム及び参加者数が増加するなど、駅伝に対する関心が高まっている。 駅伝競走を通して、心身の健全な育成と児童相互の親睦を図るとともに、体力の向上と小学生期の長距離走・持久走の正しい技能の習得、また、駅伝に親しむよい機会となり有効である。 参加チーム H23 180チーム → H24 207チーム 参加者数 H23 1,167人 → H24 1,334人				
	継続	本事業は小学生の基礎体力の向上を図るとともに、駅伝競走の強化に結びつく底辺拡大と人材発掘を目指すものであることから継続して取り組む。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	科学的トレーニング特別強化事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
		根拠法令	石川の教育振興基本計画		
		・計画等			

作	組	織	スポーツ健康課		
成	職	氏名	主任指導主事 岸 一盛		
者	電	話	番	号	
			076 - 225 - 1852 内線 5681		

事業の背景・目的

国民体育大会をはじめとする全国大会や国際大会等において、優秀な成績を収めるため、科学トレーニング機能の有効活用により競技力の向上を図る。

- 事業の概要**
- 1 対象 競技団体が推薦する成年・少年強化選手108名
 - 2 内容
 - (1) 講師招聘による研修会
 - (2) 基礎体力測定
 - (3) 専門体力測定・分析
 - (4) トレーニング処方作成・提示
 - (5) トレーニング実践指導
 - (6) 国立スポーツ科学センター(JISS)との連携

※年2回、基礎体力測定・専門測定を実施し、トレーニング処方を作成
※トレーニング処方に基づいた専門指導の実施
 - 3 会場 いしかわ総合スポーツセンター
 - 4 期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日
 - 5 強化事業指定人数

(単位:人)

団体名	成年	少年
スキー		9
水泳	1	5
ゴルフ		6
陸上		4
バレーボール	12	
バスケットボール	10	
レスリング		4
ハンドボール	15	

団体名	成年	少年
ソフトテニス		8
卓球		8
フェンシング		8
ソフトボール	3	
バドミントン		6
ライフル射撃	3	
なぎなた		6
合計	44	64

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化	評価	A			
課題	スポーツ医・科学研究成果の活用促進					
指標	医科学トレーニング実践者数	単位	人			
目標値	現状値					
	平成24年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	800	640	1,306	1,737	1,537	2,020

事業費					
(単位:千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算 4,000	3,600	3,240	2,200	2,000
	決算 4,000	3,600	3,240	2,200	2,000
一般	予算 4,000	3,600	3,240	2,200	2,000
財源	決算 4,000	3,600	3,240	2,200	2,000
事業費累計	4,000	7,600	10,840	13,040	15,040

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	A	<p>本県では国の機関であるJISSとの連携により、最新の情報をもとにいしかわ総合スポーツセンターの科学トレーニング機能を活かし、競技力向上に努めている。</p> <p>本事業におけるトレーニングや実践指導によるセミナーは、事業対象者から好評を得るとともに、国体をはじめとする全国大会等での上位入賞につながるなど有効である。</p>
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	<p>全国的にも国体や国際大会等で活躍している多くの選手は、科学トレーニングを実践しており、本県においても最新の情報をもとに競技力向上を目指し、継続して取り組んでいく。</p>